

# 第2号



発行

## 檜山教職員組合

定価一年間300円  
組合員の購読料は  
組合費に含む

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1  
Tel 0139(52)0858 FAX (52)1490  
発行責任者 石橋英敏  
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp



### 2016檜山教職員の集い

# ゆつたり、みっちり学びび合った

5月14日午後から行われた檜山教職員  
の集いには43名が参  
加しました。趣旨で  
ある「ゆつたり学び  
合い」が生かされる  
よう全日程を温泉宿  
で開催、宿泊も通し  
て翌日まで交流しま  
した。

「たのしい授業と仮説実験授  
業」と題して小笠原智先生（札  
幌養護学校教諭）が講演、実践  
例をたくさん紹介しました。身  
近な事例について仮説を交流し  
ながら検証していく実際のなや  
りとりが新鮮で、大いに盛り上  
がりました。次から次へと学習  
材や教具が、ドラえもんやポケ  
ットよろしく出現し、先生の温

かな人柄とともにた  
のしい雰囲気を感じ  
出してくれました。  
「他者と自分を重ね  
合わせて思考が深ま  
っていく過程がたま  
らない」と言った感  
想が寄せられました。  
子どもたちのひ  
らめきや気づき、そ  
の時の表情などにも  
思いを馳せ、参加者  
自身が子どもよう  
な気分で発刺と受講  
していました。

「養護教諭と語  
ろう」分科会には  
養護の先生以外の  
参加もありました。  
子どものことから  
職場のことなど話  
題も多岐に渡り、  
議論が尽きません  
でした。これから  
の集まりでさらに  
深めていくことを  
確認し合いました。  
温泉に浸かって  
からの夕食交流会  
には23名が参加、  
ゲーム交流などを  
交えこれも大いに  
盛り上がりました。

「たのしい授業と仮説実験授  
業」と題して小笠原智先生（札  
幌養護学校教諭）が講演、実践  
例をたくさん紹介しました。身  
近な事例について仮説を交流し  
ながら検証していく実際のなや  
りとりが新鮮で、大いに盛り上  
がりました。次から次へと学習  
材や教具が、ドラえもんやポケ  
ットよろしく出現し、先生の温

かな人柄とともにた  
のしい雰囲気を感じ  
出してくれました。  
「他者と自分を重ね  
合わせて思考が深ま  
っていく過程がたま  
らない」と言った感  
想が寄せられました。  
子どもたちのひ  
らめきや気づき、そ  
の時の表情などにも  
思いを馳せ、参加者  
自身が子どもよう  
な気分で発刺と受講  
していました。

### 2017年度政府予算にむけた文科省概算要求に対する要請

**えがお署名  
スタート**

例年のとおりくみ、7  
月末提出です。ご協力  
よろしくお願いま  
す。詳細は裏面に記載  
しております。

**教育予算の増額を！  
35人学級の実現を！  
教育費の無償化を！**

かがやけ!  
みんなのえがお

### ゲンシマンの「ものづくり」講座 大盛況

「ゲンシマン」として知られる  
小笠原先生の講座は大盛況  
でした。ゲンシマンお祝いカー  
ド、ゲンシマンカウントダウン  
フラッカー、梱包用シートで作  
るふわふわタコ、タコラミネー  
ト紙袋、くるくるレインボー、  
じゃんけんハンド…とたくさ  
んのものづくりを楽しみまし  
た。盛り沢山の内容で、時間内  
にすべてを完成させることは  
できませんでしたが、どれもが  
ハサミやセロハンテープなど身  
近な道具で簡単に作れるもの  
ばかり。夢中に製作にとりく  
む参加者の笑顔がとても印象  
的でした。

### なくそう! 核兵器 国民平和大行進

- 今金集会・行進 5月31日(火) 18:00  
今金町デ・モーレン広場
- 江差集会・行進 6月1日(水) 18:00  
道南勤医協江差診療所前

**1歩でも 2歩でも ごいっしょに**

提唱: 原水爆禁止世界大会実行委員会 主催: 国民平和大行進地区実行委員会

えがお署名で  
願い届けよう

# 貧困と格差が子どもと家庭を直撃

## 人間としてでの育ちを支える予算を

今年度予算では、35人以下学級が小学校1、2年生に広がったものの抜本的な改善は見送られたままです。その一方で、一部のエリアト人材を養成する施策などには多くの予算が配分されました。少ない教育予算にあつて選別的な内容となっています。

今、貧困と格差の拡大が、

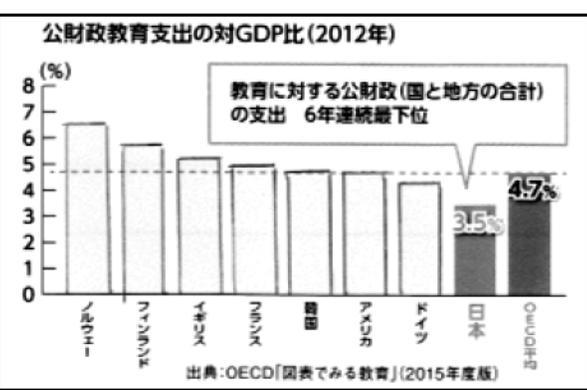
### 要請事項

1. 国の教育予算がOECD諸国並みの水準となるよう、計画的に増額をはかること。
2. 国の責任で小・中学校および高校の35人以下学級を実現するために、教職員定数を計画的に改善すること。障害児学級・障害児学校の定数改善をはかること。
3. 教育の機会均等を保障するために、「就学援助制度」の充実と高校生への拡充、高校生・大学生への「給付制奨学金制度」の創設をすること。
4. 「高校無償化」を復活し、公私ともに学費の無償化を前進させること。
5. 東日本大震災・福島原発事故被害から子どもを守り、学校と地域の復旧・復興をすすめること。

※ 対政府予算にむけた文科省概算要求に合わせ7月下旬に文科省に提出します。

子どもの安心のよりどころである家庭を直撃しています。子どもの貧困率が16・3%にまでなり、6人に1人が貧困の中で生活しています。ここ数年の間に急激に悪化しています。下図「三度の食事を欠いている」「目が悪くても眼鏡をかうお金がない」「電車賃が払えず学校にいけない」など、貧困が子どもを襲う実態が明らかにされています。

多くの自治体では独自に少人数学級などを進めていますが、小学校から高校までの少人数学級の実現のためには国の制度改善が求められます。障害児学校の過大・過密も放置されたまま、改善の制度化が急がれます。



「お金の心配なく安心して学びたい」。人間としての育ちを支える予算措置をいっしょに求めていきましょう。

命と安全を最優先した学校・地域づくりの課題解決がいよいよ切実です。日本は公財政教育支出がOECD諸国中で最下位です。左図「子どもと教育をめぐる喫緊の課題を解決し、どの子にもゆきとどいた教育を保障するために、少なくともOECD諸国並みの教育予算に増額する必要があります」。



### 高校配置計画地域別検討協議会(松山)

## 「キャンパス校化の検討」現実的に

5月9日、檜山学区の公立高等学校配置計画地域別検討協議会が開催されました。管内各町の教育長、小学校を含めた学校・PTA関係者の出席のもと、道

「地域キャンパス校化の検討が必要」として上ノ国高校が対象になり得るとの見方が示されました。ただ、キャンパス校の課題検証や今後の推移を勘案して確定的な方向性は未知数となっています。協議で、地元高校生の学業生活を支える町のとりくみが紹介されました。通学費補助や奨学支援などへの期待が大きいとの報告がありました。また、学校の特色を生かせる教員配置基準の見直しを求める意見も出されました。傍聴席からは、へき地性の高い地域に生まれ育つ子どもたちへの配慮を求める要望や、貧困と格差を背負う子どもたちへの支援充実を訴える声などが出されました。地域づくりの視点を生かした制度設計を求める意見もありました。

上ノ国高校(同校HPより) なかで、その担当部署から説明がありました。通学費補助や奨学支援などへの期待が大きいとの報告がありました。また、学校の特色を生かせる教員配置基準の見直しを求める意見も出されました。次回7月までに「計画案」

### 熊本地震被害、長引く避難と生活苦

## 子どもと学校の救援カンパ ご協力をお願いします

発災から1月半、今なお9100人が避難生活を余儀なくされ、見通しのない不安な日々を送っています(5/22熊本県発表)。熊本県だけで586の学校施設が被害を被っています(5/16内科府発表)。5月11日までに全校が再開しましたが、子どもの心が深く傷を負い、精神的に不安定になっていると伝えられます。車中で生活をする子どもたちも多く、ストレスが重なるばかりです。

全北海道教職員組合(道教組)は、被災した子どもと学校を救援するカンパを呼びかけました。松山教職員組合が窓口となっており、皆様のご協力を心よりお願いします。



窓や戸の枠が折れ曲がった熊本市内の中学校

## 第 2 号

## 檜山教職員組合

定価一年間300円  
組合員の購読料は  
組合費に含む

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1  
TEL 0139(52)0858 FAX (52)1490  
発行責任者 石橋英敏  
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp